

Public Relations No.741



# Mogami

広報もがみ



表紙

## 子どもは風の子元気の子！

12月12日 大塚保育所

雪遊びの時間のひとコマ。子どもたちは寒さなんてなんのその。すべり台や雪だるま作りなどを笑顔いっぱい楽しんでいました。子どもたちを見習って、寒さに負けず元気に冬を過ごしたいものですね。

12  
2012

## 第4部 明日をきずく青少年のつどい

「明日をきずく青少年のつどい」では、はじめに最上町青少年育成町民会議主催の「平成24年度社会及び自分を良くするための作文・標語コンクール」の表彰式が行われ、最優秀賞に輝いた木村春花さんと伊藤希さんが作文を発表しました。最後に最上中の3年生が「大地讃頌」と「手紙」の合唱を披露してくれました。

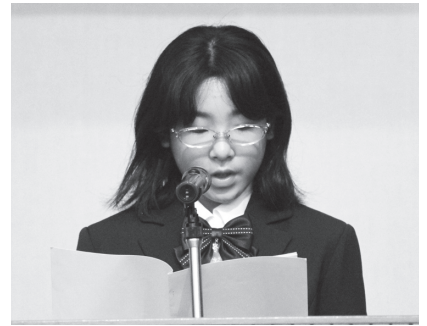
### 平成24年度社会及び自分を良くするための作文・標語コンクール 最優秀賞受賞者

#### ◆ 作文の部

- 渡 邊 凛 (向町小1年)
- 大 澤 ころ (赤倉小2年)
- 阿 部 珠羅 (月楯小3年)
- 小 川 菜々美 (月楯小4年)
- 佐 藤 亜純 (赤倉小5年)
- 木 村 春花 (赤倉小6年)
- 伊 藤 希 (最上中3年)
- 藤 井 啓吾 (最上校3年)



▲作文を発表した伊藤希さん  
題名「努力すれば夢は叶う」



▲作文を発表した木村春花さん  
題名「きずなが深まったキャンプ」

#### ◆ 標語の部

- 片 倉 広翼 (月楯小3年)
- 高 橋 美佳 (富沢小4年)
- 菅 大地 (大堀小5年)
- 石 山 日陽 (富沢小6年)

※敬称略



▲作文の部で最優秀賞を受賞した皆さん



▲標語の部で最優秀賞を受賞した皆さん

## 第2部 記念講演 男女共同参画最上地域講座

### 「いのちをつなぐ言葉の力 ～東日本大震災を乗り越えて～」

町民フォーラムの記念講演として、男女共同参画最上地域講座が行われ、作家や保護司、シンガーソングライターなど多くの分野で活躍する大沼えりこ氏が講演を行いました。

昨年3月11日に名取市で被災した大沼氏。講演では被災の経験や少年院に入る子どもたちの真実をもとに、「この震災で亡くなった命は無駄じゃない。初めて日本中が一つになったこの震災に無駄なことなんてない」、「子どもたちはみんな、生きなければ良かったと生まれてくるわけがない。子どもたちの笑顔のために、優しい手を差し伸べてほしい。相手を想ってほしい」などと「命」について語ってくれました。



▲講師を務めた大沼えりこさん



## 11 教育旅行で当町を訪れた仙台市立富沢中学校 29 田植え体験の収穫祭で「おにぎり鍋合戦」

11月29日、仙台市立富沢中学校で「富田んぼ収穫祭」が行われました。当日は教育旅行の受入れを行なったNPO山と川の学校をはじめ、民泊の受入家庭の関係者など、当町から29人が参加し大歓迎を受けました。「富田んぼ」とは、今年5月に富沢中の生徒が田植え体験を行なった水田の愛称。この秋見事に収穫されたお米は、当日320人の生徒全員に配られました。

収穫祭では、48チームによる鍋合戦と、収穫米でつくるおにぎりコンテストが行われ、最上町の協力者も生徒と一緒に作り、審査員も務めました。その結果「キムチ・チーズ鍋」と「カラフルおにぎり」が優勝しました。工夫を凝らして、おにぎりづくりをした女子生徒は「お米がおいしい」とつまみ食いをしながら楽しんでいました。

## 10 新田の岸金壽さんと渡部陽一郎さん 「ねんりんぴっく宮城・仙台2012」 13~16 当町から2人が出場しました

10月13日から16日にかけて宮城県で開催された「ねんりんぴっく」のグラウンドゴルフ競技に、山形県代表の一員として新田の岸金壽さんと渡部陽一郎さんの2人が出場しました。

ねんりんぴっくは全国健康福祉祭の愛称で、60歳以上を中心とするスポーツと文化の祭典です。昭和63年から全国各地で開催されており、参加人数は約3万人にのぼります。岸さんと渡部さんは「たくさんの方の協力をいただき楽しく大会に参加できました。全国から選手が集まるねんりんぴっくに参加できたことを誇りに思います」と語ってくれました。



▲ 岸金壽さん



▲ 渡部陽一郎さん



## 12 冬の交通安全県民運動 6 飲酒運転撲滅事業所訪問を実施

年末年始の忘年会・新年会シーズンを迎え、飲酒の機会が多くなることから、冬の交通安全県民運動の一環として、飲酒運転追放の啓発活動が行なわれました。活動には、交通安全協会、交通安全母の会、最上町駐在所などの団体から27人が参加。地区ごとに分かれて町内の事業所や旅館、飲食店など107か所を訪問し、チラシや啓発物を配布し、飲酒運転追放を呼びかけました。

年末年始にかけて、お酒を飲む機会が増えてきます。飲酒運転は絶対にやめましょう。

12 / 優れた人材は地域の財産  
13 地域リーダー塾が開講



12月13日、地域活性化の現場で求められる人材を育成する「地域リーダー塾」が開講し、初回の講義が行われました。講師を務めたのは、鹿児島県鹿屋市串良町にある柳谷集落の自治公民館長豊重哲郎氏。豊重氏は過疎高齢化がすすんでいた同集落を、10年かけて地域再生した村おこしの実践家です。参加した皆さんは、地域再生について熱く語る豊重氏を、真剣な眼差しで見つめながら聞き入っていました。リーダー塾は、入門・リーダー育成・サポーター養成の3コースで、2月中旬まで開催されます。

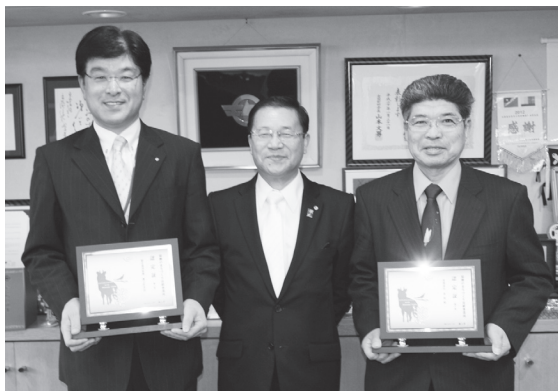
11 / 第18回全国女性消防団員活性化大会  
7 さらなる活躍を誓う



11月16日、第18回全国女性消防団員活性化大会が、秋田県民会館で開催され、最上町女性消防隊8名が参加しました。大会には全国から約2,000人の女性消防隊員が参加し、日ごろの活動や、東日本大震災時の活動発表が行われました。

富澤由美子部長は「全国の女性消防団員の活かな活動事例を聞き、感動したと同時に、私たちががんばりたいという意欲が湧いてきました。今後も町民の役に立てるよう消防活動に取り組んでいきます」と強い意気込みを聞かせてくれました。

12 / 新庄信用金庫最上町支店・有限会社早坂組  
5 協働のまちづくりに貢献



12月5日、地域活性化に向けた活動に取り組む事業所を認定し応援する、協働のまちづくり貢献事業所登録制度の認定証交付式が町長室で行われました。今回認定された事業所は新庄信用金庫最上町支店、有限会社早坂組の2社。

新庄信用金庫最上町支店では、町内の環境美化やスポーツ振興を積極的に行なっています。有限会社早坂組では地域づくりや青少年健全育成、産業活性化などの分野で中心となる人材を活躍させ、地域振興と発展に貢献しています。

12 / 自然災害から住民の生命と暮らしを守る町民大会  
17 「住民の命を守る」を最優先に



12月17日、町民の皆さんの防災意識を高めるため、「自然災害から住民の生命と暮らしを守る町民大会」が開催されました。同大会では、昨年9月に大水害に見舞われた、奈良県十津川村の更谷慈禧村長が大水害の現場や復興計画について講演を行い、「日ごろの助け合いこそが、いざというときの力になる。みんなで助け合い、希望と誇りを持つ村をつくっていく」と力強く語りました。講演後には、町民の意見発表や大会宣言などが行われ、今後、町民が一丸となって災害対策に取り組んでいくことを確認しました。